

第4学年2組 外国語学習指導案

令和元年9月9日(月) 第5校時
活動場所 4階 4年2組/4階 国際理解ルーム
児童数 男子9名 女子12名 計21名
授業者 T1 杉浦 宗久 T2 山田 奈央子
A L T D i a n n e

1 単元名 「 Unit4 What time is it ? 」

2 単元について

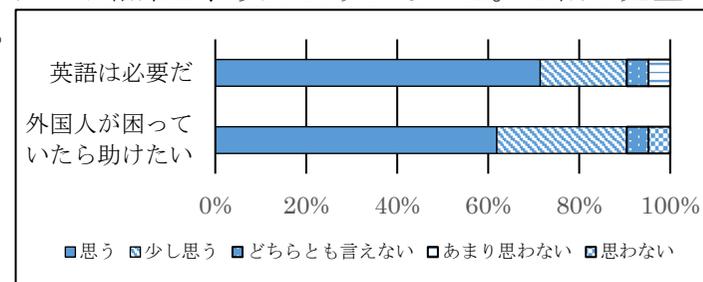
(1) 教材について

本単元は、学習指導要領の内容(1)ア、聞くこと(ア)に関わる学習である。時刻を尋ねたり、伝えたりする表現に慣れ親しみながら、友達とコミュニケーションをとることが主な活動である。適切な場面を設定することで、困って時刻を尋ねる側と、それを伝える側との間に情報のギャップが生じ、「尋ねる」「伝える」という活動にコミュニケーションの必然性が生まれ、目的意識を持って活動できる単元である。また、これまでに慣れ親しんだ英単語や基本的な表現を駆使しながら、相手に時刻を尋ねたり伝えたりすることで、自分の表現が相手に伝わった、相手の説明が分かったというコミュニケーションの楽しさを味わうことができる単元である。

(2) 児童について

本学級は、自己開示が苦手で、自分の思いを授業中に発表することに対して消極的な児童が多い。4月に行われたhyper-QUからは、児童の満足度に大きな差があることを読み取ることができた。TK式知能検査の結果は、学級平均45.6、標準偏差10.7であり、全体的に知能の発達が遅れており、広がりも大きいことが分かる。9月4日に行った外国語に関するアンケート結果は、次のようになった。9割の児童が外国語学習の必要性を感じると共に、実生活で生かしていきたいと考えている様子が分かる。しかし、日々の学習では、進んで英語を声に出し、考えたことを発表できる児童は少ない。

以上のことから、本学級は、知識・理解が乏しく、自信を持つことができない児童が多いが、外国語を学び、日々の生活の場面で生かしていきたいと考えている児童は多いと考えられる。正誤にのみ捕らわれず、非言語コミュニケーションを用いながら、自分の考えが伝わることよさを味わわせることが大切だと考えられる。

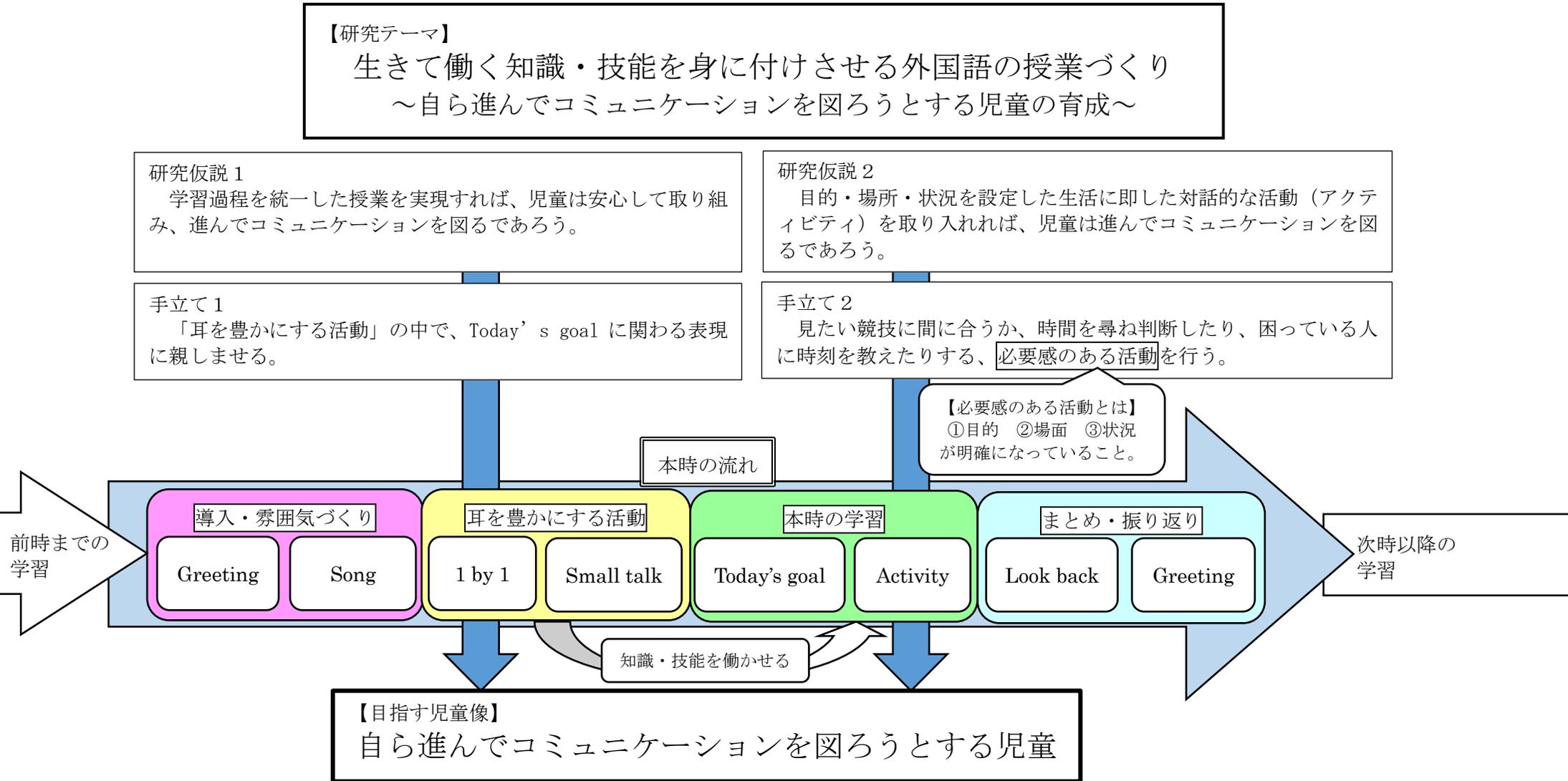


(3) 指導について

コミュニケーション活動の話題として、来年度に迫った東京オリンピックを取り上げる。「soccer (サッカー)」や「marathon (マラソン)」、「swimming (水泳)」などの種目は、児童に身近な英単語であり、無理なく発音できる言語素材であると共に、テレビ番組やインターネット等を通して日頃から親しんでおり、関心を持って取り組むことができると考える。

また、単元を通し、耳を豊かにする活動の時間を多くとることで、時刻を尋ね、答える表現を、自然と口にすることができるようにしたい。簡単な相槌の打ち方やお礼の言い方、動作等を自然に活用できるようにすることで、友達とのかかわりも深まり、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成することができると考える。外国語の表現を学ぶと共に、人と関わりを持つことよさを味わわせたい。

3 研究主題との関連



5 単元の計画（本時2／2時）

時	目標	活動	使用表現・語彙	評価				
				知	思	主	評価規準	評価方法
1	・時刻の尋ね方、答え方に慣れ親しむ。	・ Greeting ・ Song ・ Chant ・ Small talk ・ 1 by 1 ・ Today's goal ・ Activity ・ Look-back ・ Greeting	・ What time is your ○○ time? ・ What time is it? ・ It's ○:00 AM/PM. ・ オリンピック競技種目	○			◎時刻の言い方に慣れ親しんでいる。	発言内容 行動観察 記録分析
2 (本時)	・ 見たい競技に間に合うか時刻を尋ね判断したり、時刻を答えたりしようとする。	・ Greeting ・ Song ・ 1 by 1 ・ Small talk ・ Today's goal ・ Activity ・ Look-back ・ Greeting	・ What time is it? ・ It's ○:00. ・ Thank you. ・ オリンピック競技種目		○	○	◎相手に配慮しながら、見たい競技に間に合うか時刻を尋ね判断したり、時刻を答えたりしようとしている。	発言内容 行動観察 記録分析

6 本時の学習指導

(1) 目標

- ・ 見たい競技に間に合うか時刻を尋ね判断したり、時刻を答えたりすることができる。【思考力・判断力・表現力等】(SI、L)
- ・ 困りごとを解決しようとして、分かりやすく伝えようとする。【学びに向かう力・人間性等】(SI、L)

(2) 評価規準

観点等	実現状況		
	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (Bに達しない児童に対する指導の手立て)
思考力・判断力・表現力等	時刻を尋ね、見たい競技に間に合うか判断し、適切な反応をしている。	時刻を尋ね、見たい競技に間に合うか判断している。	・ 日程表から競技と開始時刻を探し、間に合うかどうか考えさせる。
学びに向かう力・人間性等	相手の気持ちを考えて、分かりやすく時刻を伝えようとしている。	相手の聞きたいことを考えて時刻を伝えようとしている。	・ 相槌を打ったり、繰り返しをさせたりして、相手の意図を汲み取ることができるようにする。
評価の方法	発言内容・行動観察・記録分析（ワークシート・動画・振り返りシート）		

(3) 展開 (2 / 2時)

時間	児童の活動 (C)	教師の活動 (T1)	T2、ALT の活動 (T2) (A)	指導上の留意点 (・) 【評価規準】
3	<p>【Greeting】 C Stand up, please. C Hello, Mr Sugiura. C Hello, Ms Yamada, Ms Dianne . C I' m □, thank you, and you? C It' s sunny. C It' s Monday.</p>	<p>T1 Let' s start. T1 Hello, everyone. T1 English phrase, please.</p>	<p>T2, A Hello, everyone. How are you today? A I' m □, thank you. A How is the weather today? A What day is it today?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・笑顔で和やかな雰囲気を作る。 ・教師も英語中心で話をし、外国語活動の雰囲気をつくる。 ・全児童に対して、1対1 (教師対児童) で会話を行い、今日の体調について全委員に受け答えさせる。
1	<p>【Song】 歌を歌う。 C one, two, three, …</p>	<p>T1 Let' s sing a song. T1 one, two, three, …</p>	<p>A Today' s song is 「12steps」 . A one, two, three, …</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の歌を歌い、はっきりと明るく声で学習に望む雰囲気をつくる。 ・1～12の数え方を確認させ、自信を持って本時の学習に取り組むことができるようにする。。
6	<p>【1 by 1】 教師対児童でやり取りをする (聞く)。 C It is ○:00.</p>	<p>T1 Let' s 1 by 1. 友達が話しているときもよく聞いて、英語を聞く力を伸ばしましょう。</p>	<p>A What time is it?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・AET の発音を注意深く聞き、恥ずかしがらず発音できるよう、ゆっくりはっきり、繰り返し行う。 ・不安感のある児童は、音声を十分に聞いた上で行えるよう、順番にこだわらず最後にする。 ・答えた児童を英語で称賛する。
7	<p>【Small talk】 東京オリンピックと、行われる競技についての会話を聞く。</p>	<p>T1 山田先生とダイアン先生の会話を聞いて、なんと言っているのか考えましょう。</p>	<p>T2 By the way, Dianne. Do you know “Tokyo Olympics?” A Yes, I do. T2 What sports do you like? A I like Basketball. T2 Oh, I see. A How about you? T2 I like soccer. A Oh, I see. I cannot wait for Tokyo Olympics. T2 Me neither.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時で扱う「オリンピックで行われる競技」に関するスモールトークを、ジェスチャーを交えて行う。 ・児童にも“Do you like ○○?” や “What sports do you like?” と尋ね、やり取りする中で、単語を聞き取らせたり、話の大体をつかませたりする。

	<p>C Tokyo Olympics, sports, soccer, do you like 等 C 東京オリンピックの競技について話していた。</p>	<p>T1 どんな言葉が聞こえましたか。</p>	<p>T2, A I see. Right. That is true. Good. Exactly. など</p>	<ul style="list-style-type: none"> • T2 は、児童の発表に対して相槌を打ちながら肯定的に受け止める姿勢を示すようにする。 • タイムスケジュールを示し、競技種目を確認させる。
<p>9</p>	<p>【Today' s goal】 本時のトピックを確認する。</p>	<p>T1 Today' s goal. T1 ダイアン先生と山田先生が何を話しているのか聞いて考えよう。</p>	<p>A Please watch & think.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 教師のやり取りを通し、活動の大体がつかめるよう、非言語コミュニケーションを意識的に取り入れる。(表情、ジェスチャー) • タイムスケジュールを指さしながらやり取りする様子を見せ、時刻に間に合うかどうかで反応が異なることに気付くことができるようにする。 • 教師のやり取りの中で聞こえた単語や表現を出し合う中で、時刻を尋ねたり答えたりする活動の見通しを持たせ、本時の目標を設定する。
<p>13</p>	<p>【Activity】 活動の内容を知る。 C What time is it?で尋ねる。 C Hello. で声をかける。 C Thank you. でお礼を言う。 教師のやり取りを見聞きし、活動の手順を確認する。 ①AET と練習をする ②隣・前後・ななめの人と練習する ③友達とやり取りする</p>	<p>…I should have prepared early. I want to watch Basketball. Mm… A Hello. What time is it? T2 It is ○:00. 【間に合う時刻だったとき】 【間に合わない時刻だったとき】 A Thank you! A Oh, my god! Thank you…</p> <p>T1 どんな場面でしたか。</p> <p>T1 競技開始に間に合うかどうか、時刻を尋ねていましたね。 Today' s goal is ….</p> <p>見たい競技に間に合うか、時刻をたずねたり、答えたりしよう。</p> <p>T1 Today' s goal を達成するには、どんな表現を使いますか。</p> <p>A Hello. What time is it? B It is ○:00. A Thank you.</p> <p>T1 児童の様子を見て、活動に参加したり、助言したりする。</p>	<p>T2, A I see. Right. That is true. Good. Exactly. など</p> <p>T2, A Let' s look at demonstration.</p> <p>T2, A I see. Right. That is true. Good. Exactly. など</p> <p>T2, A Let' s look at demonstration.</p> <p>T2, A 児童と一緒に活動する。 迷っている児童に声をかける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 課題達成のために、どのような表現を使えばよいか考えさせ、既習事項が生活場面で生かすことができることを実感させる。 • 目を見る、頷きながら行う、または、ひとくち English を参考にしてよいと伝える。 • 使用する英語を提示する。 • 同じ “Thank you.” でも、間に合うとき、間に合わないときで伝え方が異なることに気付かせる。 • 尋ねる人と答える人に分かれて行わせる際は、帽子をかぶってグループを明確にする。

				黄色（尋ねる） 緑（答える） ・答える役には、一人一台時計模型を持たせ、その時刻を答えさせる。
【評価規準】 思 時刻を尋ね、見たい競技に間に合うか判断し、適切に反応しようとしている。 学 相手の困りごとを解決しようと、分かりやすく伝えようとしている。				
5	【Look-back】 本時の振り返りを書き、発表する。	T1 それでは今日の振り返りを書き、発表しましょう。		・今まで、今日、これからの視点で振り返りを書かせるようにする。
1	【Greeting】 C Thank you, Mr Sugiura. C Thank you, Ms Yamada , Ms Dianne. C See you.	T1 That' s all for today. T1 Stand up, please. T1 Thank you.	T2, A Thank you. A See you, good bye.	・気持ちの良いあいさつで授業を終えることができるよう、明るい表情であいさつをする。 ・振り返りを提出するとき、“What time is it?” と尋ねさせ、教師とのやり取りを観察し習熟度を確認する。

(4) 板書計画

Greeting	天気	曜日	日付
Song			
Small talk			
Today's goal	見たい競技に間に合うか、時刻をたずねたり、答えたりしよう。		
Activity			
Look-back			

Tokyo Olympics Schedule. ※児童用ワークシートを拡大して掲示する。	A Hello. What time is it? B It is ○:00. A Thank you.
--	--

(5) ワークシート

 Tokyo Olympics Schedule.

Name ()

events	start time	events	start time
opening ceremony	8:00 	tennis	11:00 
marathon 	6:00 	skateboard 	9:00 
soccer 	5:00 	basketball 	10:00 
baseball 	12:00 	badminton 	6:00 
swimming 	7:00 	closing ceremony 	8:00 